



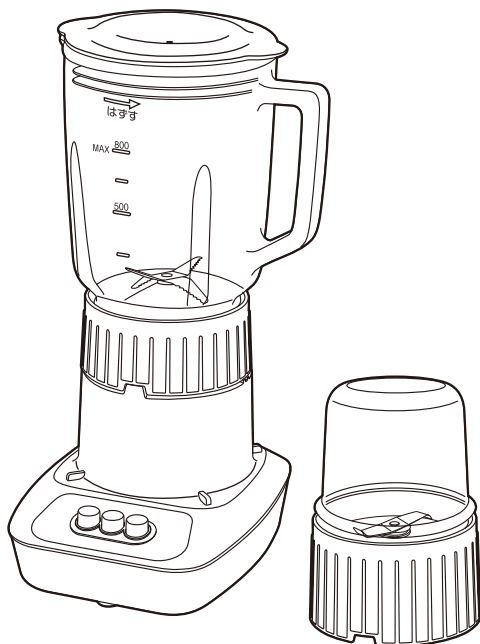
取扱説明書

保証書付

家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途での使用はしないでください。
思わぬ事故の原因になります。

ジュースミキサー (ミル付き) YMC-M801



も く じ

安全上のご注意	1～3
必ずお守りください	4
仕 様	4
各部の名称とはたらき	5
使いかた	6～9
調理例	10～11
お手入れと保管	11～13
故障かな?と思ったら	14
アフターサービスについて	14
保証書	裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社ジュースミキサーをお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになったあとは、大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告



禁止

交流100V以外での使用、コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない

- 延長コードやタコ足配線などで定格を超えるとコンセントの異常発熱や感電・発火・火災の原因になります。



分解禁止

修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理・改造はおこなわない

- 火災・感電・けがの原因になります。
- ※故障と思われるときはお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。



指示に従う

本体に異常・故障・破損があったり電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

- 火災・感電・けがの原因になります。異常・故障例
14ページの「こんな症状はありませんか？」を参照し異常がある場合はすぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。



禁止

傷んだ電源コードや電源プラグは使用しない

コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

- 感電・ショート・発火の原因になります。



指示に従う

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 発熱・感電・火災の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、破損させたり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりたばねて使用しない

- また、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工すると、電源コードが破損し火災・感電の原因になります。

※結束バンドは必ずはずす。



指示に従う

定期的に電源プラグのほこりをふき取る
電源プラグにピンやゴミを付着させない

- 刃や刃の取り付け面にピンやゴミが付着したり、ほこりがたまると、感電・ショート・発火の原因になります。また、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグのお手入れは、乾いた布でふいてください。

警告



使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜く ● けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



ミキサーボトル・ミル容器・ふたなどの取りつけや取りはずしのときお手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜く

● 不意に動作してけがをしたり、ショート・感電の原因になります。



すき間や開口部にピンや針金などの異物を入れない

禁止

● 感電・けが・故障の原因になります。



安全スイッチを細い棒などで押さない

禁止

● 不意に動作してけがをしたり、故障の原因になります。



運転中やカッターが完全に停止するまではミキサーボトル・ミル容器・ふたなどの取りつけや取りはずしはしない

禁止

● 食材がこぼれたり、けが・故障の原因になります。



お子さまや取り扱いに不慣れな方だけで使用しない
幼児の手の届く場所で使用したり保管しない

禁止

● 感電・けがの原因になります。



包装用ポリ袋はお子さまの手の届かない場所に保管する

指示に従う

● 誤って顔にかぶったり、巻きついたりして窒息し、死亡の原因になります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

● ショート・感電・けがの原因になります。



本体を水につけたり、水をかけたり丸洗いをしない

水ぬれ禁止

● 感電・ショート・火災・故障の原因になります。



食材をミキサーボトルやミル容器から取り出すときやお手入れのときはカッターの刃に注意する

指示に従う

● けがの原因になります。



カッターは鋭利なので直接手で触れない

接触禁止

● けがの原因になります。



運転中にふたをはずして調味料などを入れない

禁止

● 食材がこぼれたり、けがの原因になります。



運転中やカッターが完全に停止するまではミキサーボトルやミル容器の中に指・スプーン・箸など食材以外のものを入れない

禁止

● けが・故障の原因になります。



カッターを露出したまま運転しない
回転中のカッターは危険なので絶対に触れない

禁止

● けがの原因になります。



復帰ボタンを押すときは、必ず「切」スイッチを押し電源プラグをコンセントから抜いて、ミキサーボトルまたはミル容器を本体から取りはずしておこなう

指示に従う

● 不意に動作してけがの原因になります。

注意



1回の運転は定格時間以内とする

指示に従う

● モーター故障などの原因になります。

ミキサーの場合：2分間以内 ミルの場合：1分間以内

定格時間以上の連続運転はしないでください。定格時間ごとに20分間以上の休みを入れてください。

注意



電源コードを持って本体を引きずらない

禁止

●故障・事故の原因になります。



指示に従う

カッターが完全に停止したのを確認してから電源プラグを抜き差しする

●けが・故障の原因になります。



禁止

50℃以上のお湯でミキサーボトル・ミル容器・ふたなどを洗ったり50℃以上の熱い食材をミキサーボトルやミル容器に入れない

●変形・変色・破損の原因になります。



禁止

ミキサーボトル・ミル容器・ふたなどを電子レンジ・オーブンレンジ・食器洗い機・食器乾燥器などで使用しない

●やけど・変形・破損の原因になります。



禁止

本体にミキサーボトル・ミル容器・ふたなどを取りつけていない状態で運転しない

●けが・故障の原因になります。

※必ずミキサーボトル・ミル容器・ふたなどを取りつけ、食材を入れてから運転してください。



禁止

次のような場所では使用しない

- 故障・けが・感電・火災の原因になります。
- 火気(コンロ・ストーブ)などの近くや直射日光のあたる所。
- 高温(40℃以上)になる所。
- ほこりや金属片の多い所。
- 油・油煙・引火性のガスのある所。
- 灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などの引火性のものがある所。
- 雨や水のかかる場所や湿気の多い所。



禁止

本体・ミキサーボトル・ミル容器などを落としたり、強い衝撃を与えない

●本体・ミキサーボトル・ミル容器などに無理な力や強い衝撃を与えると破損・故障・感電・けがの原因になります。



禁止

本製品は一般家庭用です絶対に業務用を使用しない

●本製品に無理な負担がかかり、故障・火災・事故の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かない

●感電・ショート・発火の原因になります。
※必ず電源プラグを持って引き抜いてください。



指示に従う

食材が多すぎたり、その他の原因でカッターの回転が遅かったり、停止したときはすぐに運転を中止する

●故障・けが・事故の原因になります。



指示に従う

ミキサーボトル・ミル容器・ふたなどは確実に取りつけて運転する

●けが・故障の原因になります。



禁止

カラ運転や極端に少ない食材で運転しない

●けが・故障の原因になります。



指示に従う

安定した水平な場所で使用する

●不安定な場所で使用すると落下や転倒して破損・故障・けがの原因になります。



禁止

運転中に本体を持ち運んだりしない

●けが・故障の原因になります。



指示に従う

移動や持ち運ぶときは注意する

●本体・ミキサーボトル・ミル容器など落下すると破損・故障・けがの原因になります。



禁止

掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹きつけない

●変質・破損・けが・事故の原因になります。



禁止

調理以外の目的で使用しない

●けが・故障の原因になります。



禁止

お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきんなどは使用しない

●製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になります。
※お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取ってください。

必ずお守りください

※本製品で流動食は作らないでください。

モーターに負担がかかり故障の原因になります。

※下記の食材を調理するとカッターが破損するなどして
けが・故障の原因になります。

■ミキサーで調理できない食材

- 氷……………氷だけの切削やロックアイス(コンビニで売っているもの)など
- 肉・魚介類
- 固い食材……………大豆、コーヒー豆、乾物類、冷凍した食材など
※豆類や乾物類はミルで調理してください。
- 粘りけの強い食材…長芋やじゃねんじょなど
- 水分の少ない食材…ゆでたじゃがいもなど

※フードプロセッサーではないので、食材をこねる・水分の少ないものをまぜる・
ペーストを作るなどの用途には使用できません。

例：ハンバーグのタネ・ギョーザのタネ・流動食

■ミルで調理できない食材

(ミルは乾燥物専用です)

- 氷
- 水分を含んだ食材
- 固い食材…かつおぶし、炒っていない大豆、炒っていないコーヒー豆、氷砂糖など

※大豆やコーヒー豆などは、皮がはじけるまでよく炒ってから調理してください。

仕 様

	ミキサー	ミル
電 源	交流100V 50-60Hz共用	
消 費 電 力	180W	160W
製 品 寸 法(約)	幅:140mm × 奥行:170mm × 高さ:320mm	幅:140mm × 奥行:170mm × 高さ:250mm
製 品 質 量(約)	2.2kg	1.5kg
コ ー ド 長(約)	1.5m	
定 格 時 間	2分間以内(2分間使用ごとに20分間以上休止)	1分間以内(1分間使用ごとに20分間以上休止)
定 格 容 量	800mL	160mL
安 全 装 置	温度ヒューズ、安全スイッチ	

※製品の仕様や外観などは改善などのため、予告なく変更する場合があります。

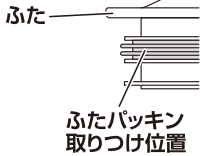
※製品寸法にミキサーボトルの取っ手は含まれておりません。

各部の名称とはたらき

ミキサー

ふたパッキン

※出荷時ふたパッキンはふたに取りつけられています。お手入れなどではずしたときは、中央の溝に必ず取りつけてください。(下図参照)



ボトル台パッキン (色:ホワイト)

※出荷時ボトル台パッキンはミキサーボトル台に取りつけられています。新たに取りつける必要はありません。

ミキサーボトル台

※ミキサーボトルを取りつけて使用します。

安全スイッチ

※ミキサーボトルとミキサーボトル台の取り付け、ミル容器とミル容器台の取り付けや本体への取り付けは、確実におこなってください。正しく取り付けられていないと運転切換スイッチを押しても運転しません。



切入 フラッシュ
運転切換スイッチ

ふた

※しっかりと取りつけて、運転中は手で押さえ絶対にはずさないでください。

ミキサーボトル

取っ手

ミル

ミル容器

容器台パッキン (色:グレー)

※出荷時容器台パッキンはミル容器台に取りつけられています。新たに取りつける必要はありません。

カッター

警告

カッターは鋭利なので直接手で触れない
接触禁止 ●けがの原因になります。

ミル容器台

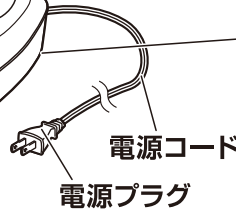
※ミル容器を取りつけて使用します。

取り付けガイド凹部

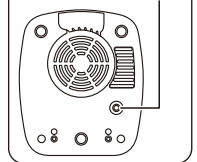
※この凹部を本体の凸部に合わせて取り付けます。

取り付けガイド凸部

本体



〈本体底面〉 復帰ボタン



※「入」スイッチを押すと連続運転をおこないます。

※「フラッシュ」スイッチを押すとスイッチを押している間だけ運転をおこないます。(断続的に運転するときに使用します)

※ミキサーボトル、ミル容器の取りはずしや取り付けをおこなうときは、12ページの「ミキサーボトル・ミル容器の取りはずしかた、取り付けかた」を参照してください。

使いかた

※はじめてご使用になるときは、12ページの「ミキサーボトル・ミル容器の取りはずしかた、取り付けかた」を参照して各部品を取りはずし、水洗いしてください。

警告



ミキサーボトル・ミル容器・ふたなどの取り付けや取りはずしのとき、お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

●不意に動作してけがをしたり、ショート・感電の原因になります。

ミキサーの使いかた

1 ミキサーボトルに食材を入れる

●食材は2cm角位の大きさにカットして入れる。

ご使用上の注意

- ※食材と一緒に必ず水または牛乳を入れてください。カッターに食材がからみ、故障の原因になります。
- ※食材は最大目盛(800mL)以上入れないでください。食材があふれたり、故障の原因になります。

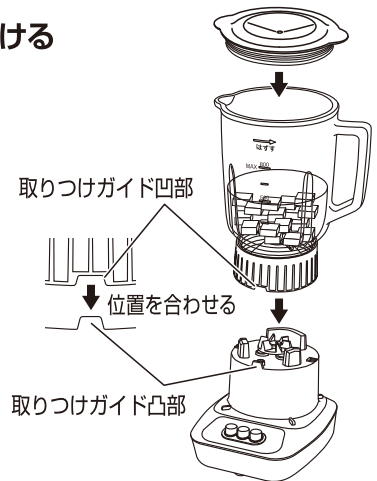


2 ふたをしてミキサーボトルを本体に取りつける

●ミキサーボトルを取りつけるときは、取り付けガイド凹部と凸部の位置を合わせ、傾きのないよう確実に取りつける。

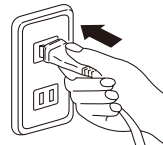
ご使用上の注意

- ※ミキサーボトルとミキサーボトル台が、正しく取り付けられていないと「安全スイッチ」が働いて運転切換スイッチを押しても運転しません。
- ※本体に取りつけたあとは持ち運ばないでください。ミキサーボトルが落下して破損・けがの原因になります。



3 電源コードの結束バンドを必ずはずし電源プラグをコンセントに差し込む

●運転切換スイッチが「切」になっているのを確認し電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込む。



使いかた つづき

ミキサーの使いかた つづき

4 ふたを手でしっかり押さえ、運転切換スイッチの「入」または「フラッシュ」を押す

ご使用上の注意

※食材が多すぎるなどでカッターの回転が遅かったり動作しない場合はすぐに運転を停止させ、ミキサーボトル内の食材を減らしてください。

⚠ 注意



指示に従う

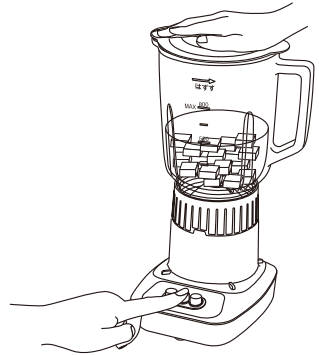
1回の運転は定格時間以内とする

●モーター故障などの原因になります。

ミキサーの場合：2分間以内

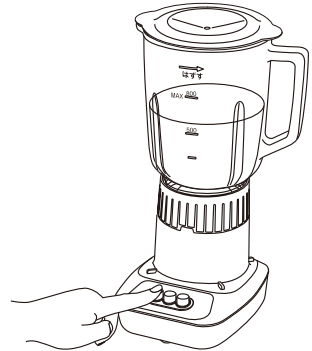
定格時間以上の連続運転はしないでください。

定格時間ごとに20分間以上の休みを入れてください。



5 ご使用後は電源プラグをコンセントから抜き、ミキサーボトルを取りはずす

- 調理が終わったら運転を停止し、カッターが完全に停止したのを確認してから電源プラグをコンセントから抜き、ミキサーボトルを取りはずす。



ミルの使いかた

1 ミル容器に食材を入れ、ミル容器台を取りつける

- 10ページの「調理例」を参照して食材を入れる。
- ミル容器にミル容器台をかぶせ、時計回りに回して取りつける。



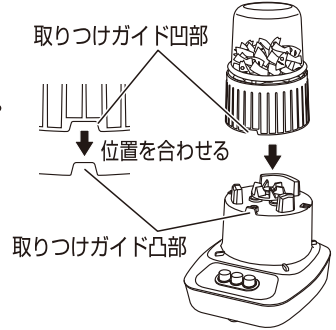
使いかた つづき

2 ミル容器を本体に取りつける

- ミル容器を取りつけるときは、取り付けガイド凹部と凸部の位置を合わせ、傾きのないよう確実に取りつける。

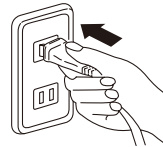
ご使用上の注意

- ※ミル容器とミル容器台が、正しく取り付けられていないと「安全スイッチ」が働いて、運転切換スイッチを押しても運転しません。
- ※本体に取りつけたあとは持ち運ばないでください。ミル容器が落下して破損・けがの原因になります。



3 電源コードの結束バンドを必ずはずし電源プラグをコンセントに差し込む

- 運転切換スイッチが「切」になっているのを確認し電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込む。



4 ミル容器を手でしっかり押さえ、運転切換スイッチの「入」または「フラッシュ」を押す

ご使用上の注意

- ※食材が多すぎるなどでカッターの回転が遅かったり動作しない場合はすぐに運転を停止させ、ミル容器内の食材を減らしてください。
- ※軽い食材などはミル容器の中で舞うことがあり、うまく粉砕できないことがあります。このような場合は「フラッシュ」スイッチを断続的に押してください。



⚠ 注意



1回の運転は定格時間以内とする

- モーター故障などの原因になります。

指示に従う

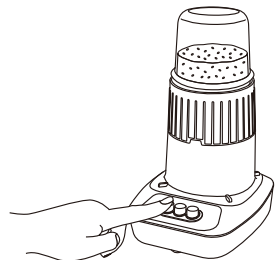
ミルの場合：1分間以内

定格時間以上の連続運転はしないでください。

定格時間ごとに20分以上の休みを入れてください。

5 ご使用後は電源プラグをコンセントから抜きミル容器を取りはずす

- 調理が終わったら運転を停止し、カッターが完全に停止したのを確認してから電源プラグをコンセントから抜き、ミル容器を取りはずす。



使いかた つづき

ご使用中に運転が止まったときは ※イラストはミキサーボトルで説明しています。

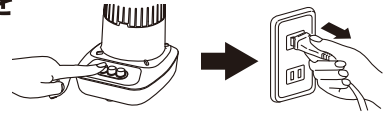
※ミキサーボトルまたはミル容器に入れた食材が大きすぎたり、多かたり、調理できない食材が入っていると、モーターを保護する保護機能が働き、運転が停止します。

このようなときは、以下の手順で対処してください。

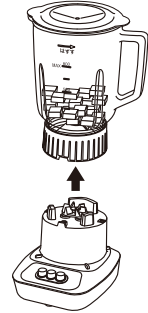
1 「切」スイッチを押してから、電源プラグをコンセントから抜く

ご使用上の注意

※運転が停止した場合は、すぐに「切」スイッチを押してください。

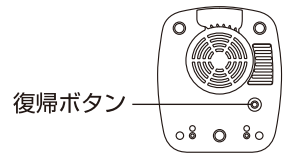


2 ミキサーボトルまたはミル容器を本体からはずす



3 食材が大きい場合は小さくカットする
食材が多い場合は食材を減らす
粘りけが強い場合は、水または牛乳を入れる
(水または牛乳を入れるのはミキサーボトルのみ)

4 本体の底面にある、復帰ボタンを奥まで押す
●復帰ボタンは箸などを使用して「カチッ」と音がするまで押す。



5 ミキサーボトルまたはミル容器を本体に取りつけて、再び運転を開始する

⚠ 警告



指示に従う

復帰ボタンを押すときは、必ず「切」スイッチを押し電源プラグをコンセントから抜いてミキサーボトルまたはミル容器を本体から取りはずしておこなう

●不意に動作してけがの原因になります。

調理例

※**運転時間は調理する食材の状態や、お好みのでき上がり状態により異なりますので目安にしてください。**

■**ミキサー** ※分量はお好みに合わせてください。

ミックスジュース (2人分)

食材	バナナ …… 1/2本 りんご …… 1/4個 角氷 …… 2～3個	みかん缶詰 …… 50g 牛乳 …… 150mL
作りかた	バナナは皮をむき、約2cmに切ります。 りんごは皮と芯を取り、約2cm角に切ります。 ①液体→②食材→③角氷の順に材料を入れ約1分間運転します。	

ストロベリージュース (2人分)

食材	イチゴ …… 150g 砂糖 …… 大さじ2	牛乳 …… 120mL 角氷 …… 2～3個
作りかた	イチゴはへたを取り、半分に切ります。 ①液体・調味料→②食材→③角氷の順に材料を入れ約1分間運転します。	

野菜ジュース (2人分)

食材	キャベツ・セロリ・各10g りんご …… 1/4個 はちみつ …… 小さじ2	ニンジン・トマト・各20g 牛乳 …… 200mL 角氷 …… 2～3個
作りかた	りんごは皮と芯を取り、キャベツ・トマトと共に約2cm角に切ります。 ニンジン・セロリは約1cm角に切ります。 ①液体・調味料→②食材→③角氷の順に材料を入れ約1分間運転します。	

※家庭用冷蔵庫の製氷器で作った角氷は使用できますが、1回の調理で角氷を使用する量は2～3個にしてください。一度にたくさん入れるとカッターを傷めたり、モーター故障の原因になります。

※食材は、①液体・調味料→②水分の多い食材・やわらかい食材→③水分の少ない食材・固い食材や角氷の順でミキサーボトルに入れてください。

※調理後は早めにお召し上がりください。

ミル

食材	調理状態	運転時間	調理例
煮干(約2cmに切ったもの20g)	粉末	約40秒	おみそ汁、おでんのだし汁、ふりかけなどに
干しいたけ(約1cmに切ったもの15g) ※石づきは取り除きます	粉末	約40秒	煮物のだし汁、天ぷらの衣に混ぜて
大豆(よく炒ったもの70g) ※皮がはじけるまでよく炒ります	粉末	約35秒	きな粉に、和菓子の材料に
ごま(よく炒ったもの35g)	顆粒・粉末	約30秒	豆腐、野菜、漬物、おひたしなどにふりかけてまたはあえものに混ぜて

※うまく粉碎されずに多少残る場合もあります。

りんごジュース (2人分)

食材	りんご …… 1/2個 レモン汁…大さじ1 角氷 …… 2～3個	牛乳 …… 200mL 砂糖 …… 大さじ1
作りかた	りんごは皮と芯を取り、約2cm角に切ります。 ①液体・調味料→②食材→③角氷の順に材料を入れ約1分間運転します。	

野菜と果物のジュース (2人分)

食材	バナナ …… 1/2本 りんご …… 1/2個 プレーンヨーグルト …… 大さじ3	ニンジン …… 1/3本 牛乳 …… 160mL 角氷 …… 2～3個
作りかた	バナナは皮をむき、約2cmに切ります。 りんごは皮と芯を取り、約2cm角に切ります。 ニンジンは約1cm角に切ります。 ①液体→②食材→③角氷の順に材料を入れ約1分間運転します。	

オニオンフレンチドレッシング (約350mL)

食材	タマネギ …… 中1個 酢 …… 90mL 塩 …… 小さじ1	ニンニク …… 1/2片 オリーブオイル…90mL コショウ …… 適宜
作りかた	タマネギとニンニクはスライスして電子レンジで温めたあと、40℃以下まで冷めます。 ①液体・調味料→②食材の順に材料を入れ約1分間運転します。	

調理例 つづき

調理アドバイス

■食材がミキサーボトルまたはミル容器の内側に付着して調理しにくいとき

運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてミキサーボトルまたはミル容器を本体から取りはずし、付着した食材をヘラなどを使って落としてから調理する。

■食材がカッターとミキサーボトル台またはミル容器台の間に挟まり調理しにくいとき

運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてミキサーボトルまたはミル容器を本体から取りはずし、挟まっている食材を取り除いてから調理する。

食材が大きくて調理しにくい場合は、取り除いたあとに小さく切ってから調理する。

■カッターがカラ回りして調理しにくいとき（ミル容器使用時）

食材がミル容器の上側に付着するときは、運転を停止し電源プラグをコンセントから抜いてミル容器を本体から取りはずし、軽く振って落としてから調理する。

このとき、ミル容器がゆるまないように注意する。

食材が跳ね上がるときは、「フラッシュ」スイッチを断続的に押して調理する。

ご使用上の注意

※無理に運転を続けると、故障の原因になります。

お手入れと保管

お手入れや移動のときは、電源プラグをコンセントから抜く。ジュースミキサーは、食品に触れる調理器具です。ご使用後は必ずお手入れをして、いつも清潔な状態で使用する。

※お手入れのときは、けがなどを防止するためゴム手袋などを着用してください。

警告



プラグを抜く

ミキサーボトル・ミル容器・ふたなどの取りつけや取りはずしのとき、お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

- 不意に動作してけがをしたり、ショート・感電の原因になります。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしない

- 感電・ショート・火災・故障の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- ショート・感電・けがの原因になります。



接触禁止

カッターは鋭利なので直接手で触れない

- けがの原因になります。

注意



禁止

お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきんなどは使用しない

- 製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になります。
- ※お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取ってください。



禁止

掃除用・整髪用・殺虫剤などの

スプレーを吹きつけない

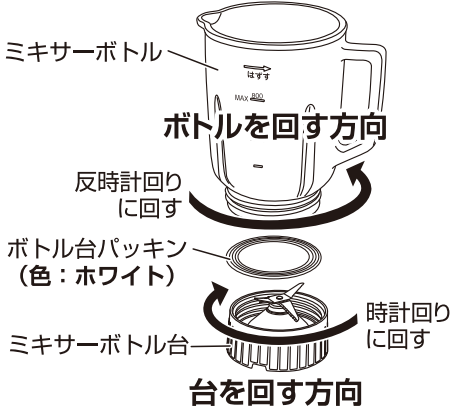
- 変質・破損・けが・事故の原因になります。

お手入れと保管 つづき

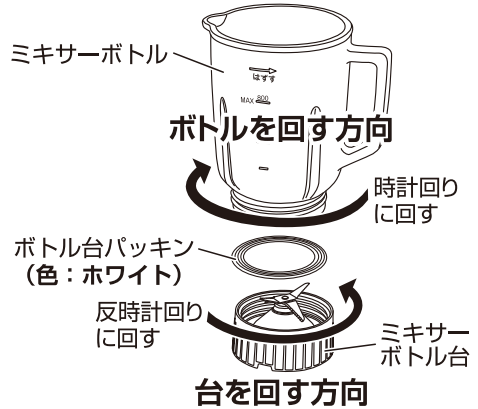
■ ミキサーボトル・ミル容器の取りはずしかた、取りつけかた

取りはずしや取りつけのときは、回す方向に注意してください
また、各部品を間違えて取りつけないように注意してください
(特にパッキンを取りつけるときは、下図を参照し色で見分けて間違えないように注意してください)

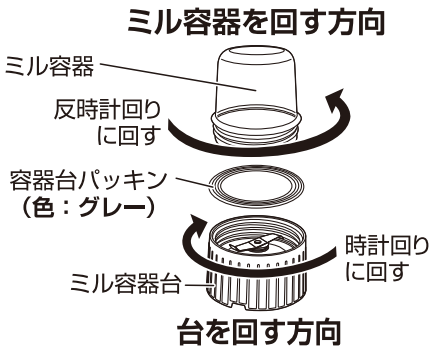
■ ミキサーボトルの取りはずしかた



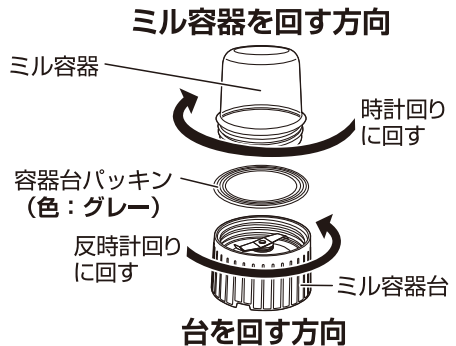
■ ミキサーボトルの取りつけかた



■ ミル容器の取りはずしかた



■ ミル容器の取りつけかた



◆ 使用上の注意

- ※取りつけや取りはずしのとき、カッターに触れないよう注意してください。けがの原因になります。
- ※取りつけるときはしっかりと締めつけて取りつけてください。
(締めすぎると取りはずせなくなることがあります)
- ※取りつけるときはボトル台パッキンや容器台パッキンの取り付け忘れやズレなどが無いことを確認してください。
ボトル台パッキンや容器台パッキンが正しく取り付けられていないと食材が漏れたり安全スイッチが働き運転しない場合があります。
- ※ミキサーボトルの部品をミル容器に取りつけたり、ミル容器の部品をミキサーボトルに取りつけたりしないでください。
正しく取り付けられていないとうまく調理できなかつたり、食材が漏れたり、安全スイッチが働き運転しない場合があります。

お手入れと保管 つづき

■本体 (丸洗いでできません)

- 汚れは、水またはぬるま湯に浸した柔らかいふきんをよくしぼってふき取る。
- 落ちにくい汚れは、薄めた台所用中性洗剤に浸した柔らかいふきんをよくしぼってふき取り、さらに乾いた柔らかいふきんで洗剤が残らないようにきれいにふき取る。



ご使用上の注意

- 本体の丸洗いは絶対にしないでください。

■ミキサーボトル・ミル容器・ふた・ふたパッキン (丸洗いでできます)

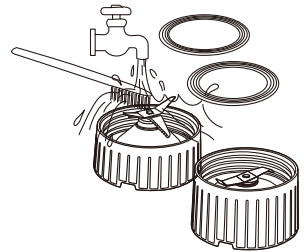
- 台所用中性洗剤を柔らかいスポンジに含ませて水洗いする。洗剤が残らないように水で洗い流し、水分をふき取ってよく乾燥させる。
- ※ふたパッキンをはずしたときは、ご使用前にふたの中央の溝に必ず取りつけてください。
食材が漏れる原因になります。



■ミキサーボトル台・ボトル台パッキン・ミル容器台・容器台パッキン (丸洗いでできます)

- 先の細いものを使ってパッキンをはずす。
- 台所用中性洗剤をブラシに数滴つけて水洗いする。
- 洗剤が残らないように水で洗い流しよく乾燥させる。
- ※ご使用前にボトル台パッキンや容器台パッキンを必ず取りつけてください。
食材が漏れたり、安全スイッチが働いて運転しないことがあります。
- ※パッキンを取りつけるときは、色で見分けて間違えないように注意してください。

ボトル台パッキン:ホホワイト 容器台パッキン:グレー



▲ 注意



50℃以上のお湯でミキサーボトル・ミル容器・ふたなどを洗ったり
50℃以上の熱い食材をミキサーボトルやミル容器に入れない

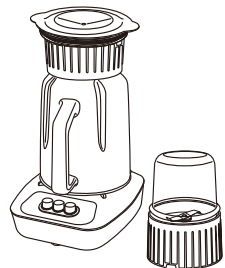
禁止

●変形・変色・破損の原因になります。

■保 管

保管のときは必ずお手入れをおこない、よく乾燥させる

- お手入れしたあとよく乾燥させ、包装ケースに納めるかポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管する。
(湿ったまま保管するとカビの発生や異臭・故障の原因になります)
- 本体・ミキサーボトル・ふたを右図のように重ねて収納できます。



故障かな?と思ったら

次の点検をおこなってください。

症 状	原 因	処 置
運転しない スイッチが入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがコンセントから抜けていませんか? ●ボトルや容器が確実に取りつけられていますか? 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。 ●安全スイッチが働いています。ボトルや容器を確実に取りつけてください。
カッターが回らない 使用中に運転が止まる 振動が大きい	<ul style="list-style-type: none"> ●食材を入れすぎではありませんか? ●食材が大きすぎませんか? ●調理できない食材ではありませんか? 	<ul style="list-style-type: none"> ●量を減らしてください。 ●小さく切り直してください。 ●調理できない食材を取り除いてください。 ●P9の「ご使用中に運転が止まったときは」を参照して、やり直してください。
カッターの回転が遅くモーターがうるような音がする	<ul style="list-style-type: none"> ●食材がカッターにからまっていますか? 	<ul style="list-style-type: none"> ●カッターにからまった食材を取り除いてください。

点検のお願い

安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検をおこなってください。

★こんな症状はありませんか?

- 電源コード・電源プラグが異常に熱い。
- 電源コード・電源プラグに深い傷や変形がある。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- こげくさいにおいがする。
- 器具に触れるとビリビリと電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

- 電源プラグやコンセントにほこりやごみがたまっている。

★異常があれば

ご使用中止!!

故障や事故防止のため、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

ほこりやごみを取り除いてください。

アフターサービスについて

- この製品は保証書がついております。お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年です。保証期間中の修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。

- 保証期間経過後の修理(有料)についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
- サービスパーツについては、お買い上げの販売店にご相談ください。

■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

この製品についてのお取り扱いお手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

「山善 家電お客様サービス係」

ナビダイヤル ☎ 0570-077-078

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間：10：00～17：00（土・日・祝日を除く）

- FAXまたはEメールでのご相談も受け付けております。その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

- FAXでの^{フリーダイヤル}ご相談は ☎ 0120-680-287
- Eメールでの^{フリーダイヤル}ご相談は info_m@yamazen.co.jp

個人情報の取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせのときは保証書に記載の商品名・品番をご連絡ください。

S-170629